

水環境で機能する 刺激応答性超分子材料の創製

2025年10月15日(水) 12:30~

オンライン
(zoom)開催



ご登録はこちら

参加費
無料

Associated
Mission

・Mission4

循環材料・環境共生システム

・Mission5

高品位生存圏

Keyword

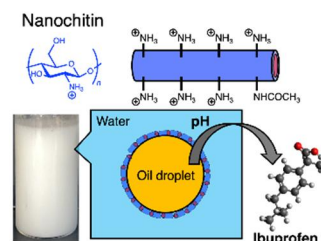
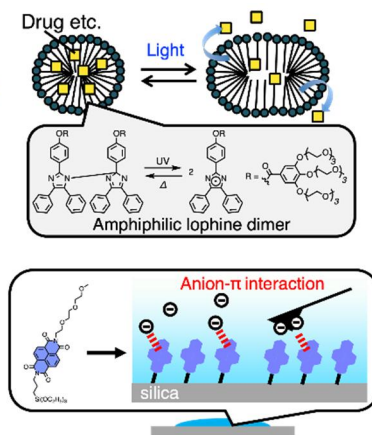
- ◇ 超分子
- ◇ 界面
- ◇ 分子集合体
- ◇ 刺激応答性
- ◇ バイオマス



赤松 允顕

生存圏研究所
准教授

生体内では、化学的あるいは物理的な刺激に応答して多様な機能が発現・調節されている。例えば、種子が温度や光、水分などの環境因子を刺激として受け取り、発芽へと至る現象は、生体が備える高度で精緻な分子システムの代表的な一例である。このように分子やその集合体に刺激応答性を付与すれば、目的とする物性を必要なタイミングで自在に引き出すことが可能となり、新たな材料設計にもつながる。本講演では特に「水環境」を活用した刺激応答性超分子材料に焦点を当て、高速で光応答する分子集合体、分子間力を基盤とした機能性界面膜、さらにはバイオナノ材料によって安定化されたpH 応答性エマルジョンなど、講演者が近年展開してきた研究成果を紹介する。



定例オープンセミナーは、生存圏の様々な研究を相互に理解すべく、ランチタイムに気軽に行っている講演会です。*不定期水曜日開催

https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/open_seminar_2022/

